

令和2年度 事業計画書

令和2年3月

公益財団法人 長崎県健康事業団

令和2年度 事業計画

当事業団は、公益目的事業の「疾病の予防及び健康の保持増進、救急医療の確保及び腎臓等臓器移植の推進」に関して、より一層の推進を行い、県民の公衆衛生の向上に取り組んでいく。

具体的には、県民の疾病予防・健康の保持増進、救急医療の充実、腎臓等臓器移植の円滑な推進等を図るため、引き続き、県や市町・長崎大学・県医師会等関係機関のご指導とご協力を得ながら健康診断事業や各種検査を行うとともに、救急医療情報システム運営事業及び臓器移植対策事業を実施する。

とりわけ、健康診断事業については、県内全域の人口減少に加え、住民健診における集団健診から個別医療機関健診への移行並びに事業所健診での大手企業の業容縮小などにより、数年来、健診受診者数が大きく減少し、健診事業収支の悪化が続く一方、検診車両や機器等の老朽化も著しく、当事業団の経営環境・経営収支は一段と厳しさを増している。

加えて、新型コロナウイルスの影響に伴う健診の中止や延期により、受診者のさらなる減少も懸念される状況にある。

このため、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響に対処しつつ、引き続き風疹抗体検査の受託をはじめ、後期高齢者健康診断等の受入れの促進、事業所健診の新規受託獲得等に積極的に取り組み、受診者数及び事業収入の維持・拡大を図るとともに、安定的な経営基盤の確保に向けて、令和元年度に策定した「経営改善計画」に基づき、健診料金の見直しや「健診予約システム」の導入検討等を進め、より一層の収支改善や業務の効率化に着実に取り組んでいく。

なお、今年8月には、（公財）予防医学事業中央会との共催により、長崎市で「第38回全国情報統計研修会」の開催を予定している。

（1）健康診断の推進

広く不特定多数の県民の健康診断の受診機会の拡大が図られるよう、県・各市町や地元医師会等と連携しながら、特定健診、各種がん検診、結核検診、学校検診、職域健診、先天性代謝異常検査などの健診・検査を実施し、疾病の予防対策

や病気の早期発見等に寄与していくとともに、健診データの調査分析及び研究を行い、地域性や時代特性を踏まえた情報発信及び啓発活動を行っていく。

また、国が掲げる特定健診受診率70%以上並びにすべてのがん検診受診率50%以上の目標達成に向けて、市町と連携して、効率的な個別の受診勧奨・再勧奨事業などへの協力を積極的に行うとともに、子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポン券を配布された住民に対して、がん検診の効果的な実施に貢献していく。

なお、令和2年度から、75歳以上の後期高齢者健診の問診内容が、これまでの特定健診と同様の質問項目から、「フレイル（虚弱）」など高齢者の特性を把握する質問項目に変更されるが、当事業団では、問診票の修正やシステムの改修等を行い、4月から直ちに対応できる体制を図っている。

また、国が令和元年度から3ヶ年で実施している、風疹特別対策についても、引き続き、市町の特定健診や企業の職場健診等での風疹抗体検査の受託に積極的に取り組んでいく。

（2）精度管理の充実と健診サービスの向上

質の高い健康診断事業や各種検査を行うために、下記の項目を実施する。

- ① 健診サービスの向上に向け、令和2年度は、健診結果の返送期間短縮に取り組むこととし、がん検診における「事業評価のためのチェックリスト（検診機関用）」に掲げる「受診者への結果の通知・説明、市区町村への結果報告」のとおり、胸部・胃がん・子宮頸がん・乳がんについては、原則、検診受診後4週間以内、大腸がんは2週間以内の返送を目指す。
- ② 健診機関として重要な個人情報の保護については、令和2年度に「プライバシーマーク」の6度目の更新を行い、引き続き、適切な管理体制の下、職員への個人情報保護の教育・研修会等を開催し、個人情報の適正な取得・利用・管理を図っていく。
- ③ 精度管理については、令和2年2月に4度目の認定更新を受けた、「労働衛生サービス機能評価機構の優良認定施設」として、引き続き、各種研修会に技術職員等を計画的に参加させ、最新の健診・検査技術、人材の育成、機器の管理、シ

システムの充実を行い、質の高い健診サービスの提供・充実に努める。

- ④ 長崎県より委託を受けた「がん検診事業評価及びがん検診精度管理事業」により、県内市町のがん検診実施機関について、国立がん研究センター「事業評価のためのチェックリスト」を用いて調査・集計を行う。また、がん検診の各種データを整理・分析して各指標を作成するとともに、全国との比較分析を行い、県のホームページにリンクして広く公表する。
- ⑤ 当事業団で実施した「がん検診」の要精密検査者について、医療機関での精密検査受診状況を確認するとともに、未受診者に対し受診勧奨を実施する。
- ⑥ より質の高い健診を提供し受診者から選ばれる健診機関を目指して、令和2年度も引き続き、接遇向上委員会を開催し、接遇・マナーの向上に努めていく。

(3) 救急医療対策の実施

「救急医療情報システム」の管理運営を行うとともに、救急搬送患者の状況を解析するため、救急搬送事後検証票のデータ入力・集計を行う。

(4) 臓器移植対策の実施

公益社団法人日本臓器移植ネットワーク及び協力医療機関等と連携して、臓器提供について協力依頼を行うとともに、出前講座・街頭キャンペーン・臓器提供意思表示カードの配布等による啓発活動を行う。

臓器移植希望者の負担軽減を図るため、腎臓・肺臓・肝臓・膵臓の移植希望者に対して、日本臓器移植ネットワークに支払う新規登録料の一部助成を行う。

(5) 普及啓発事業

① 結核予防週間（9月24日～9月30日）

結核予防の推進ため、パンフレット・ポスターの配布、パネル・ビデオ等の資材貸出しなどを行う。また、結核の制圧を目指す「複十字シール運動」

（8月1日～12月31日）については、その開始にあたって長崎県結核予防婦人会とともに長崎県知事を表敬訪問し、結核の周知啓発や予防対策の推進について協力依頼を行う。

② がん征圧月間（9月1日～9月30日）

がん予防の推進ため、パンフレット・ポスターの配布、パネル・ビデオ等の資材貸出しなどを行う。また、ピンクリボン活動（乳がん予防啓発活動）への協力を積極的に行う。

③ 県民の「特定健診」や「がん検診」の受診率アップ対策として、「がん総合デジタル検診車」や「胸部デジタルX線検診車」の車体メッセージを移動媒体として活用し、受診率向上の啓発に努める。

④ ホームページにおいて、当事業団の事業活動及び健康に関する最新の情報を更新し県民の皆様へ提供していく。

(6) 「健診・検査年間計画」は、次のとおりである。

《健診・検査年間計画》

(単位：人)

| 健診・検査項目 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
|---------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 実績 | 実績 | 実績 | 実績見込(a) | 見込(b) | 増減(b-a) |
| 一般検診 | 336,045 | 325,049 | 312,232 | 310,780 | 313,070 | 2,290 |
| 特定健康診査 | 44,047 | 44,375 | 44,470 | 44,400 | 45,120 | 720 |
| 事業所健診 | 102,863 | 98,011 | 92,398 | 92,630 | 94,000 | 1,370 |
| メンタルヘルス | 7,847 | 7,132 | 6,681 | 6,200 | 6,300 | 100 |
| 結核健康診断 | 132,088 | 128,270 | 122,758 | 122,200 | 123,000 | 800 |
| 原爆健診(一般) | 4,074 | 3,510 | 3,268 | 2,950 | 2,500 | ▲ 450 |
| 学童健診 | 45,126 | 43,751 | 42,657 | 42,400 | 42,150 | ▲ 250 |
| 胃がん検診 | 25,694 | 25,174 | 24,201 | 23,200 | 22,650 | ▲ 550 |
| 子宮がん検診 | 17,066 | 16,860 | 16,513 | 16,300 | 16,300 | 0 |
| 乳がん検診 | 18,434 | 18,530 | 18,400 | 18,950 | 19,100 | 150 |
| 肺がん検診 | 39,426 | 39,061 | 37,580 | 37,200 | 37,400 | 200 |
| 大腸がん検診 | 39,094 | 40,047 | 42,633 | 42,900 | 43,300 | 400 |
| 骨粗鬆症予防健診 | 2,090 | 2,297 | 2,421 | 2,400 | 2,400 | 0 |
| 腹部超音波検査 | 5,903 | 5,800 | 5,553 | 6,150 | 6,150 | 0 |
| ヘリコバクター ピロリ抗体検査 | 625 | 1,060 | 1,476 | 1,100 | 1,050 | ▲ 50 |
| 胃がんリスク検診 (ABC検診) | 2,660 | 2,591 | 2,006 | 1,700 | 1,450 | ▲ 250 |
| 風しん抗体検査 | 0 | 0 | 0 | 1,620 | 2,500 | 880 |
| 健診小計 | 487,037 | 476,469 | 463,015 | 462,300 | 465,370 | 3,070 |
| 前年比 | - | 97.8% | 97.2% | 99.8% | 100.7% | - |
| 先天性代謝異常検査 | 12,062 | 11,732 | 11,072 | 10,550 | 10,350 | ▲ 200 |
| 検体受託検査 | 1,211 | 1,136 | 1,052 | 1,010 | 1,010 | 0 |
| 検査小計 | 13,273 | 12,868 | 12,124 | 11,560 | 11,360 | ▲ 200 |
| 総合計 | 500,310 | 489,337 | 475,139 | 473,860 | 476,730 | 2,870 |

資金調達及び設備投資の見込について

(1) 資金調達の見込について

▼長期借入金

| 借入先 | 金額 | 使 途 |
|------|---------------|-------------------------------------|
| 市中銀行 | 100,000,000 円 | 乳がんデジタルX線検診車（1台） 胃部デジタルX線装置（1台）等 |

(2) 設備投資の見込について

▼当期中の重要な設備投資

| 設備投資の内容 | 予定額 | 資金調達方法 又は取得資金の使途 |
|--------------|---------------|--|
| 乳がんデジタルX線検診車 | 70,400,000 円 | JKA補助金 2,500万円 借入金 4,540万円 |
| 胃部デジタルX線装置 | 28,800,000 円 | 借入金 2,880万円 |
| 健診機器更新 | 30,000,000 円 | 借入金 2,580万円 自己資金 420万円 |
| 計 | 129,200,000 円 | JKA補助金 2,500万円 借入金 10,000万円 自己資金 420万円 |